

議会のうごき

令和3年10月以降の議会の主な活動状況を次のとおりお知らせします。

<10月>

- 4日 理研食品株式会社陸前高田ベース（陸上養殖施設）竣工式（議長出席）
- 5日 広報小委員会
- 6日 武雄市議会総務常任委員会行政視察対応（議長、総務常任委員会委員出席）
- 12日 市議会議員共済会審査会（議長出席）
- 13日 広報小委員会
- 20日 全員協議会／総務常任委員会／教育民生常任委員会／産業建設常任委員会／諸課題調査検討委員会
- 22日 広報小委員会
- 29日 議会運営委員会

<11月>

- 2日 第2回臨時会
- 5日 陸前高田市市勢功労者表彰式（議長ほか出席）
- 10日 全国市議会議長会第225回理事会・第111回評議員会合同会議（議長出席）
- 14日 「母子像」復元事業に係る祝賀会および実行委員会解散会（議長出席）
- 15日 全国過疎地域連盟第52回定期総会（議長出席）
- 17日 気仙地区議会議員協議会の岩手県に対する要望運動（議長出席）
- 19日 会派代表者会
- 22日 広報小委員会／全員協議会／総務常任委員会／教育民生常任委員会／産業建設常任委員会／復興対策特別委員会理事会／諸課題調査検討委員会
- 23日 優良従業員表彰式（議長出席）
- 25日 議会運営委員会
- 30日 第4回定例会（～12月10日）／全員協議会／総務常任委員会／教育民生常任委員会／産業建設常任委員会／広聴小委員会／広報小委員会

<12月>

- 2日 本会議（一般質問）／会派代表者会
- 3日 本会議（一般質問）
- 6日 本会議（一般質問）／予算等特別委員会／広聴広報特別委員会／復興対策特別委員会
- 7日 予算等特別委員会
- 8日 総務常任委員会／教育民生常任委員会／産業建設常任委員会／議会運営委員会
- 10日 本会議／全員協議会
- 14日 広報小委員会
- 17日 広報小委員会
- 21日 広報小委員会
- 23日 岩手県沿岸都市議会連絡協議会の岩手県知事に対する要望運動（議長出席）
- 24日 岩手県南・宮城県北 I L C 誘致推進大会（議長ほか出席）
- 27日 議会運営委員会

【誤字の訂正について】

市議会だより第118号（令和3年11月10日発行）において誤字がありましたので、お詫びして訂正いたします。

18ページ「第7回がんばっています」の本文中1行目

誤) 凜之介さん 正) 凜之介さん

議会だよりクイズ

○の中にはどんな文字が入るでしょうか？

本市の12歳以上で2回目接種を終えた

「新型コロナウイルス

〇〇〇〇接種率は91.3%です。」(11月末時点)

※文字が一つずつ入ります。

<応募方法>クイズの答え、住所、氏名、年齢を記入の上、ハガキまたはFAX(0192-53-1210)で応募してください。

また、市議会だよりを読んだ感想、市議会への意見・要望などを必ず記入してください。

正解者の中から抽選で5人に粗品をお贈りします（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます）。

※いただいた意見・要望などは次回の市議会だよりに掲載することがあります（住所、氏名は掲載しません）。

〈あて先〉〒029-2292 陸前高田市高田町字下和野1
陸前高田市議会事務局 宛

〈しめきり〉令和4年1月28日(金)(当日消印有効)

市議会だより第118号クイズの答え

○の中にはどんな文字が入るでしょうか？

全国で初めて養殖の事業化に成功し、広田湾だけで採れる幻の貝の名称は

広田湾産〇〇〇〇貝 ※文字が1つずつ入ります。

(答え) **イシカゲ**

みんなの声

市民の皆さまから議会に寄せられた意見・要望などを一部ご紹介します。

(文章が長い場合は、抜粋して掲載させていただきます。)

○最近、高齢化が進み、田んぼやりんご園をやれなくなってきている人が多く見受けられます。それを受けて若い人たちが、りんご、ぶどう栽培などを始めて移住して来たりしているのを聞きますが、大変良いことだと思います。

米崎はりんごの歴史あります。

○ためになります。



追跡調査

あの課題どうなった?

～防災行政無線の難聴対策は～

東日本大震災から、この春で12年目を迎えようとしています。これまでの復興の歩みの中で、本市議会に提出された請願をはじめ、議会報告会で市民から寄せられた意見や要望といった諸課題について、追跡調査した内容を掲載します。今回は平成28年第2回議会報告会で行った「防災行政無線の難聴地区の解消及び的確な情報伝達手法の検討」について、市担当者から話を聞きました。

問 現在の防災行政無線の整備状況は。

答 高田町の消防防災センターに親局を設け、仁田山中継局、横田沢に簡易中継局を整備するなど、市内一円に受信局169基を設置して各種防災行政情報を放送しています。

問 市民の中には「放送が聞き取りにくい」と感じている人がいるようですが、その対応をどのように考えているでしょうか。

答 本市の防災行政無線は、地震発生後に津波などが予想された際、屋外で作業をしている漁業者らに避難を呼び掛けるために設置

したのが始まりです。本来は屋外にいる市民に知らせるものであり、自宅などの屋内にいると聞き取りにくい場合もあると思います。

問 難聴地区解消に向け、スピーカーを備えた受信局を増やしているのでしょうか。

答 新たに受信局を1基設置するには600万円程度の経費が必要となります。スピーカーから近い場所では「音が大き過ぎる」との苦情もありますので、財源的な面と配置などの課題を検討する必要があります。

問 最近では、災害時の情報を携帯電話などでも得られるようになりましたね。

答 防災無線で放送した内容を携帯電話のメールで受け取ることができるようになりました。ほか、音声を固定電話や携帯電話で聞くことができます。

また、近年のデジタル化に伴い、2、3年後には無線機器の装置を更新する必要がありそうです。その費用として5億円ほどの経費が見

込まれており、経費を抑えながら大きな効果が得られる方法について検討を重ねているところです。

問 放送が聞き取りにくい世帯に戸別受信機を無償貸与していますが、状況は。

答 12月8日現在、1193台貸し出しています。市内全世帯では15・7%の使用率です。現在、防災課には170台ほどの在庫があります。希望される場合は、連絡をいただければと思います。

問 最近では、災害時の情報を携帯電話などでも得られるようになりましたね。

答 防災無線で放送した内容を携帯電話のメールで受け取ることができるようになりました。ほか、音声を固定電話や携帯電話で聞くことができます。

また、近年のデジタル化に伴い、2、3年後には無線機器の装置を更新する必要がありそうです。その費用として5億円ほどの経費が見

急速なメールを展開しています。また、フェイスブックやツイッターといったSNS、市公式ホームページでも情報を投稿、掲載しています。

問 若い世代には携帯電話が大変有効な手段だと思いますが、高齢者の中には不慣れた市民も多いのでは。

答 現在、NTT東日本と共同で、携帯電話だけでなく、高齢者も使い慣れている固定電話を活用した情報伝達サービスを検討中です。具体的には、事前に電話番号を登録してもらい、避難情報が出された際、市などの操作により、その番号に一斉に電話が掛かり、「〇〇学校へ避難してください」などと、AI音声などが流れるシステムです。

とから、今後、市内での実証実験を経て導入を検討していきたいと思っています。

(担当・鵜浦昌也)